

～武満徹没後 30 年記念企画 武満徹がこの世界に遺した音楽～ 「武満徹の肖像」開催のお知らせ

平素より水戸芸術館の活動にご協力賜りまして、誠にありがとうございます。

今秋、当館では「武満徹没後30年記念企画」として、3つの公演、①「講座 片山館長とめぐるシリーズ〈第1回 武満徹〉」(9/5[土])、②「武満徹の肖像」(9/26[土])、③「今昔雅楽集 四、秋庭歌一具」(10/4[日])を開催いたします。この度は、「武満徹の肖像」公演について、ご案内申し上げます。

武満徹(1930-1996)氏は日本人作曲家として最も大きな存在ですが、当館ともたいへん縁が深く、1990年から96年の逝去まで吉田秀和賞の審査員を務め、また、92年には室内楽作品〈そして、それが風であることを知った〉が世界初演されています。

本公演は、武満氏の室内楽と歌曲(ポップ・ソング)を特集する演奏会です。武満氏が戦争によって奪われた自己の「生」を取り戻したいという想いのもとに作曲活動を開始した最初期の作品から、前衛音楽の影響を受けながら独自の音楽語法を磨き上げた時代の作品、そして、最後に辿り着いた「歌」の境地まで、その創作の軌跡を辿ります。

つきましては、貴媒体にてご紹介賜りたく、お願い申し上げます。

武満徹の肖像

2026年 9月26日(土)

15:30 開場・16:00 開演

【会場】水戸芸術館 コンサートホールATM

【料金】全席指定／一般 4,500円

U-25 (25歳以下) 1,500円

10月4日「秋庭歌一具」セット券 7,000円

【出演】

波多野睦美(メゾソプラノ)、高木綾子(フルート)、成田達輝(ヴァイオリン)、山澤 慧(チェロ)、北村朋幹(ピアノ)、片山杜秀(ナビゲーター／水戸芸術館館長)

【曲目】

二つのレント (1950) ピアノのための より I アダージョ

妖精の距離 (1951/89) ヴァイオリンとピアノのための

遮られない休息 (1952-59) ピアノのための

フォー・アウェイ (1973) ピアノのための

《SONGS》

うたうだけ (1958) 谷川俊太郎・詞

死んだ男の残したものは (1960) 谷川俊太郎・詞

翼 (1982) 武満 徹・詞 ほか



【チケット取り扱い】 好評発売中

水戸芸術館 (9:30 ~ 18:00 / 月曜休館)

【電話】チケット予約センター Tel.029-231-8000

【WEB】<https://www.arttowermito.or.jp/ticket/>

【窓口】エントランスホール内チケットカウンター

主催：公益財団法人水戸市芸術振興財団

【お問合せ】企画について：水戸芸術館音楽部門(担当：中村) Tel.029-227-8118

ご掲載について：水戸芸術館広報係(担当：君島) Tel.029-227-8111

E-mail: kouhou@arttowermito.or.jp

〒310-0063 茨城県水戸市五軒町 1-6-8 <https://www.arttowermito.or.jp/>